

ユーキゾール MPA

神港有機化学工業株式会社

発行日:2016 年 04 月 28 日

改訂日:2016 年 05 月 11 日

バージョン:2.0

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品名 : ユーキゾール MPA

製品コード : SA4W36000

供給者情報

供給者の会社名称 : 神港有機化学工業株式会社

住所 : 兵庫県神戸市東灘区住吉浜町 1 8 番地の 2 6

担当部門 : 営業部 (電話番号:06-6264-0491 FAX:06-6264-8229)

緊急連絡先情報 : 本社工場(TEL:078-811-1931)

2. 危険有害性の要約

製品の GHS 分類、ラベル要素

GHS 分類

物理的危険性 引火性液体 : 区分 3

健康有害性 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分 2B

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分 3(麻酔作用)

(注) 記載なき GHS 分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

絵表示

(GHS-JP)



注意喚起語 (GHS-JP) : 警告

危険有害性情報 (GHS-JP) : 引火性液体及び蒸気
眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

[安全対策] : 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源 から遠ざけること。一禁煙
容器を密閉しておくこと
容器を接地すること/アースをとること
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること
取扱い後は手などをよく洗うこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面 を着用すること
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
火花を発生させない工具を使用すること
静電気放電に対する予防措置を講ずること
ミスト/蒸気/スプレー を吸入しないこと

[応急措置]	指定された個人用保護具を使用すること
	： 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
	気分が悪いときは医師に連絡すること
	眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること
[保管]	火災の場合：指定された消火剤を使用する。
	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること
	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。
	皮膚を流水／シャワーで洗うこと
	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
[廃棄]	製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
	： 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと
	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと
	施錠して保管すること
	日光から遮断すること
[廃棄]	： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

成分名	含有量	化審法番号	CAS 番号
PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート)	≥99%	(2)-3144	108-65-6

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置 一般	： ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること 気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること
吸入した場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
皮膚に付着した場合	： 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。 皮膚を流水／シャワーで洗うこと 多量の水と石鹸で優しく洗うこと 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること
眼に入った場合	： 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する
飲み込んだ場合	： 気分が悪いときは医師に連絡すること 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること

5. 火災時の措置

消火剤	
適切な消火剤	： 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を用いる
特有の危険有害性	： 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある

	る
	消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある
消火を行う者への勧告	
特有の消火方法	： 適当な距離から注意して消火すること 区域より退避させること 安全に対処できるならば着火源を除去すること
消火を行う者の保護	： 消火作業従事者は適切な保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具 および緊急時措置	： 区域より退避させる 適切な保護衣を着用していないときは破損した容器や漏洩物に触れてはい けない 回収が終わるまで充分な換気を行う
環境に対する注意事項	： 漏出した物質の下水や排水溝への流入は、適切な対策なしに行ってはなら ない
封じ込め及び浄化方法及び機材	： 多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する 乾燥した土、砂、不燃材料に吸収もしくは覆って容器に移す 清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める
二次災害の防止策	： 危険でなければ漏れを止める 全ての発火源を取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止） 排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ 着火源を取除くとともに換気を行う

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	： ミスト/蒸気/スプレー を吸入しないこと 火花を発生させない工具を使用すること 静電気放電に対する予防措置を講ずること 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源 から遠ざけること。一禁煙 容器を接地すること/アースをとること 皮膚に触れないようにする。眼に入らないようにする。
注意事項	： 取り扱い中は適切な全体換気を行い、蒸気濃度が増大することを防止する
安全取扱注意事項	： 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと 静電気放電に対する予防措置を講ずること 火花を発生させない工具を使用すること 指定された個人用保護具を使用すること 容器を接地すること/アースをとること 使用前に取扱い説明書を入手すること
保管	
安全な保管条件	： 容器を密閉しておくこと 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと 施錠して保管すること 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。

避けるべき保管条件	:	日光から遮断すること 他の物質から離して保管すること 熱源から離れたところに保管すること 長期間の保管を避ける
-----------	---	--

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標 : データなし

ばく露防止及び保護措置

設備対策	:	適切な換気および密閉の装置を使用する 取扱いにおいては、局所排気装置を使用する 作業場所に、緊急時のシャワーおよび洗眼の設備を設ける
呼吸用保護具	:	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること
手の保護具	:	保護手袋を着用する
眼の保護具	:	保護眼鏡/顔面保護具を着用する
皮膚及び身体の保護具	:	保護衣を着用する
衛生対策	:	取扱い後は手などをよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと

9. 物理的及び化学的性質

形状	:	液体
色	:	無色
臭い	:	特有臭
pH	:	知見なし
沸点	:	147 °C
融点/凝固点	:	< -10 °C
分解温度	:	知見なし
引火点	:	42 °C
自然発火温度	:	354 °C
爆発特性	:	知見なし
爆発範囲（上限、下限）（g/m ³ ）	:	知見なし
爆発限界（vol %）	:	1.5 - 7 vol %
蒸気圧	:	3.8 mm Hg (25°C)
相対蒸気密度（20 °C）	:	4.6
比重（密度）	:	知見なし
粘度（粘性率）	:	知見なし
溶解度		
水への溶解度	:	可溶
溶媒への溶解度	:	ほとんどの有機溶媒に可溶
n-オクタノール/水分配係数 （Log Pow）	:	0.36

10. 安定性及び反応性

反応性	: 引火性液体及び蒸気
化学的安定性	: 製品は通常の条件下での取扱いおよび保管において安定である。
危険有害反応可能性	: 該当データなし
避けるべき条件	: 日光、熱、裸火、高温、スパーク、静電気、その他発生源
混触危険物質	: 酸、塩基、酸化性物質、還元性物質
危険有害な分解生成物	: 炭素酸化物(CO、CO ₂)

11. 有害性情報

急性毒性（経口）

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ラットの LD₅₀ として得られたデータ (>10000 mg/kg (雄)、>8532 mg/kg (雌) および>13700mg/kg b.w.(雄)) (SIDS(access on June 2008))に基づいて区分外とした。

LD₅₀ 経口 ラット : 8532 mg/kg

急性毒性（経皮）

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ウサギの LD₅₀ (> 5000 mg/kg) (SIDS, access on June 2008) に基づき区分外とした。

LD₅₀ 経皮 ウサギ : > 5 g/kg

急性毒性（吸入:気体）

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

GHS の定義における液体である。

急性毒性（吸入:蒸気）

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ラットの急性毒性値（ばく露 4 時間換算値）は LC₀ > 31.01 mg/L (5737 ppm) (SIDS(access on June 2008)), LC₀ > 9.342 mg/L (1728 ppm) (DFGOT 5(1993)), LD₅₀ > 19.82 mg/L (3667 ppm) (SIDS(access on June 2008))であり、いずれも飽和蒸気圧濃度の 90%より低い。したがって、気体の基準値を適用したが、区分を特定できないので分類できない。

急性毒性（吸入:粉塵/ミスト）

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

急性毒性（吸入:粉末） : データなし。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ウサギを用いた試験において皮膚一次刺激指数 0.0 で刺激性なし (not irritating) の結果(SIDS (access on June 2008))が得られ、また、軽度 (slight)、あるいは刺激性あり (cutaneous irritation) との報告 (DFGOT(1993)、PATTY (5th, 2001)) もあるが、それ以上の具体的な記述がない。JIS の分類基準により区分外とした（国連 GHS 分類では区分 3 に相当）。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ウサギ 9 匹を用いた試験で眼に適用後に認められた結膜発赤、結膜浮腫、虹彩炎および角膜混濁の平均スコアはそれぞれ 0.8, 0.5, 0.1, 0.2 であったが、4 日後には全て消失し、軽度の刺激性 (slightly irritating) と評価され (SIDS(2000))、最終的に本物質は軽度～中等度の刺激性と評価された (slightly to moderately irritating) (SIDS(2003)) 結果に基づく。

呼吸器感受性又は皮膚感受性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

皮膚感受性 : モルモットを用いた複数の試験(Magnusson-Kligman maximization test または method of Maguire)において、いずれも刺激性なし "not sensitizing" の結果 (SIDS(access on June 2008)), DFGOT vol. 5 (1993) に基づき区分外とした。

呼吸器感受性 : データなし。

生殖細胞変異原性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

in vitro 変異原性試験 (Ames 試験および染色体異常試験) で陰性結果 (厚生省報告 (access on June 2008)) が得られているが、in vivo の試験データがなく分類できない。

発がん性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

データなし。

生殖毒性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ラットを用いた反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験において、親動物で雌雄とも高用量群で有意な体重増加抑制を認めたが、親動物の性機能、生殖能および児動物の発生に関する各指標に対照群と比べ有意な変化は認められなかった (厚生省報告 (access on June 2008))。また、妊娠ラットの器官形成期に経口投与した試験では催奇形性を含め児の発生に及ぼす影響は観察されなかった (SIDS(access on June 2008))。以上の結果から、性機能および生殖能に対する悪影響、および催奇形性を含む児の発生に及ぼす悪影響のいずれも認められていないので区分外とした。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ラットに経口投与により 500~10000 mg/kg の全用量で嗜眠が観察され (SIDS(access on June 2008))、ウサギに経皮投与した場合にも、主な症状として麻酔作用が記述されている (DFGOT vol. 5 (1993))。また、2 週間の吸入ばく露試験ではあるが、急性的な変化としてマウスの鼻腔の嗅上皮の変性が 1.62 mg/L 以上の濃度で発生し、ばく露濃度の上昇とともに病変が重度かつ広範になり、一部の動物の内腔には炎症性分泌物が現れたとある (SIDS(access on June 2008)) ことに基づき区分 3 (麻酔作用、気道刺激性) とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

ラットを用いた反復経口投与毒性・生殖発生毒性併合試験において、1000 mg/kg/day で体重増加抑制と摂餌量の減少傾向を示したが、300 mg/kg/day 以下ではばく露の影響を認めず NOAEL は雌雄とも 300 mg/kg/day (90 日補正用量: 約 150 mg/kg/day) であり重大な毒性影響は示されていない (厚生省報告 (access on June 2008))。一方、2 週間の吸入ばく露試験では、5.39 mg/L (90 日補正用量: 0.83 mg/L) 以上で主にラット雄の腎臓の近位曲尿細管に好酸性顆粒の軽度増加が見られた。また、鼻腔の嗅上皮の変性がラットでは 16.18 mg/L で認められたのみであったが、急性的な変化としてマウスでは 1.62 mg/L (90 日補正用量: 0.25 mg/L) 以上の濃度で発生し、ばく露濃度の上昇とともに病変が重度かつ広範になり、一部の動物の内腔には炎症性分泌物が現れたとある (SIDS(access on June 2008)) が、回復性ともうけとられるため毒性学的意義が不明である (単回暴露において気道刺激性として採用)。以上の結果から、ラット雄の腎臓所見は軽度であり、ラットおよびマウスで見られた鼻腔の組織学的変化は、特にマウスではガイダンス値範囲区分 2 に相当する濃度で発現しているものの詳細が不明であることから分類できないとした。

吸引性呼吸器有害性

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

データなし。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) での 72h- ErC_{50} > 1000mg/L、甲殻類 (オオミジンコ) での 48h- EC_{50} = 370mg/L、魚類 (メダカ) での 96h- LC_{50} > 100mg/L (3 試験とも環境省生態影響試験, 1997) であることから、区分外とした。

LC50 魚 1	: 161 mg/l (Exposure time: 96 h - Species: Pimephales promelas [static])
EC50 ミジンコ 1	: > 500 mg/l (Exposure time: 48 h - Species: Daphnia magna)

水生環境有害性(長期間)

(PGMAc(プロピレングリコールメチルエーテルアセテート))

難水溶性でなく（水溶解度＞100g/L（EU-RAR，2006））、急性分類が区分外であることから、区分外とした。

残留性・分解性	： データなし
生体蓄積性	： データなし
土壌中の移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	： 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること この製品、容器は適法な設備、方法で処理するか、もしくは正式認可を得た処理業者に内容を明確に開示して処理を委託する
------	---

14. 輸送上の注意

国連番号/国連分類

国際規制

国連番号	： 1993
品名	： その他の引火性液体（他の危険性を有しないもの）
危険物輸送分類	： 3 - 引火性液体類
容器等級	： III

国内規制

緊急時応急措置指針番号	： 128
海上規制情報	： 船舶安全法の規定に従う。
航空規制情報	： 航空法の規定に従う。
その他の情報	： 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	： 非該当
労働安全衛生法	： 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）
化学物質排出把握管理促進法（P R T R法）	： 非該当
消防法	： 第4類引火性液体、第二石油類非水溶性液体（法第2条第7項危険物別表第1・第4類）
大気汚染防止法	： 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） プロピレングリコールメチルエーテルアセテート
船舶安全法	： 引火性液体類（危規則第2，3条危険物告示別表第1）
航空法	： 引火性液体（施行規則第194条危険物告示別表第1）
海洋汚染防止法	： 有害液体物質（Z類物質）（施行令別表第1） プロピレングリコールメチルエーテルアセテート
外国為替及び外国貿易法	： 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 プロピレングリコールメチルエーテルアセテート 輸出貿易管理令別表第1の16の項 プロピレングリコールメチルエーテルアセテート 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認） プロピレングリコールメチルエーテルアセテート
港則法	： その他の危険物・引火性液体類（法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表）

道路法	： 車両の通行の制限（施行令第 19 条の 13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示第 12 号・別表第 2） プロピレングリコールメチルエーテルアセテート
特定有害廃棄物輸出入規制法 （バーゼル法）	： 廃棄物の有害成分・法第 2 条第 1 項第 1 号イに規定するもの（平 10 三省告示 1 号） プロピレングリコールメチルエーテルアセテート

16. その他の情報

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。